

J9141  
第1刷  
2014年4月

**Copyright © 2014 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.**

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS) の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

以下の場合、保証やサービスを受けることができません。

- (1) ASUSが明記した方法以外で、修理、改造、交換した場合。
- (2) 製品のシリアル番号が読むことができない状態である場合。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証もいたしません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害(利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む)に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、予告なしに内容は変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容について、ASUSは責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

## もくじ

<b>Dual Intelligent Processors 5</b> .....	<b>4</b>
5-Way Optimization .....	4
TPU .....	4
EPU .....	7
DIGI+ Power Control.....	8
Fan Xpert 3.....	10
Turbo App.....	12
<b>ASUS Wi-Fi GO! カード</b> .....	<b>13</b>
ASUS Wi-Fi GO! カード 仕様一覧.....	13
インストールする.....	14
<b>Wi-Fi Engine</b> .....	<b>15</b>
<b>Wi-Fi GO! &amp; Remote GO!</b> .....	<b>17</b>
システム要件.....	17
ASUSアカウント.....	17
Wi-Fi GO! を使用する.....	19
Cloud GO! 22	
Remote Desktop.....	23
File Transfer.....	25
Remote Keyboard & Mouse.....	26
<b>ASUS Media Streamer</b> .....	<b>26</b>
システム要件.....	26
<b>RF Equipment Notices</b> .....	<b>28</b>

## このマニュアルの表記について

本書には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止していただくために、守っていただきたい事項が記載されています。次の内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。



**警告:** 作業人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性があることを示し、その危険を回避するための方法を説明しています。



**重要:** 作業を完了するために必要な指示や設定方法を記載しています。



**メモ:** 製品を使いやすくするための情報や補足の説明を記載しています。



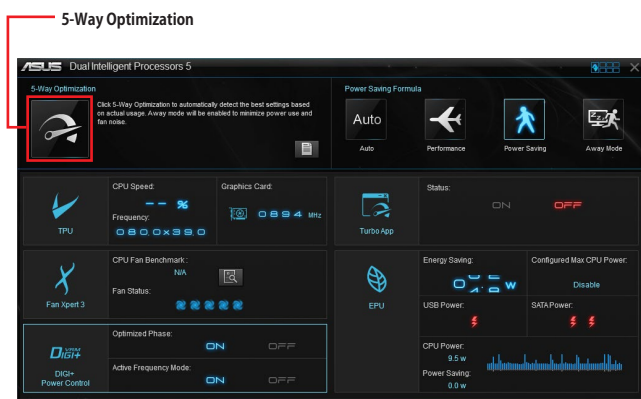
- 
- 本書に記載の内容は、製品やサービスの仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。
  - 本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。予めご了承ください。
-

## Dual Intelligent Processors 5

Dual Intelligent Processors 5 は、TPU、EPU、DIGI+ Power Control、FanXpert 3、Turbo Appの5つの調整機能を兼ね備えたパフォーマンス調整ソリューションです。Dual Intelligent Processors 5 は、直感的に操作できる使いやすいインターフェースのAI Suite 3で簡単にシステムパフォーマンス、省電力設定、ファン制御、電源回路設定の調整を行うことができます。

### 5-Way Optimization

5-Way Optimization機能では、現在のシステム状態や構成に基づいて、PC性能のチューニング（CPUのオーバークロックやメモリー設定）、PCの静音化（ファンの自動設定）、PCの省電力化、マザーボードの電源回路設定の最適化といったシステム全体のパフォーマンスをワンクリックで自動的に最適化することができます。さらに、Turbo App設定することで、使用中のアプリケーションに基づきシステムのCPUパフォーマンス、オーディオ設定、ネットワーク優先順位を自動的に調整することができます。



5-Way Optimizationの実行中は、ファンやデバイスを取り外したり、UEFI BIOSの設定を変更しないでください。

### TPU

TPUでは、CPU動作周波数、CPUコア部/アンコア部の動作倍率、統合型グラフィックス動作周波数各種電圧を手動で細かく調整することができます。



CPU電圧の調節を行う前にCPUに付属の説明書や仕様書等を必ずご確認ください。設定値が高すぎるとCPUの損傷、低すぎるとシステムが不安定になる原因となることがあります。



システム保護の観点から、本ユーティリティで設定した内容はBIOSに反映されません。よってシステムを再起動した際にも本ユーティリティでの設定は反映されず、BIOS設定値で起動します。本ユーティリティで設定した内容を継続して使用するには、設定をプロファイルとして保存し、システム起動後に手動でプロファイルを読み込ませてください。

## TPUを使用する CPU Frequency

調整バー

動作コア数を選択

一括設定

CPU Core Voltage

CPU Cache Voltage

CPU/CPU キャッシュ電圧

プロフィールをロード

プロフィールを保存

デフォルト設定に戻す

設定を適用する

最後に適用された値に戻す



- 本ユーティリティでCPU動作倍率を設定する前に、UEFI BIOS Utilityの「CPU Core Ratio」を「Auto」に設定してください。詳細はユーザーマニュアルのUEFI BIOS設定に関する項目をご覧ください。
- 動作コア数の選択画面に表示されるイメージは、取り付けたCPUのモデルにより異なります。

## Voltage

CPU Core Voltage

CPU Cache Voltage

CPU Core Voltage

CPU Cache Voltage

設定を適用する

最後に適用された値に戻す

デフォルト設定に戻す

プロフィールをロード

プロフィールを保存

スライダーをドラッグして各種電圧を調整

## GPU Boost



## CPU Strap



- ・ オバークロックのパフォーマンスは、取り付けられたCPUやシステム構成により異なります。
- ・ オーバーヒートによるマザーボードやコンポーネントの故障を未然に防ぐために、TPUによる調整を行う際は、適切な冷却システムを取り付けた上で行ってください。

## EPU

EPUは電力管理をアシストするツールで、システムの多様な電力要求に応えます。このユーティリティには4つの動作モードがあり、状況に応じて設定を行うことで、システムの消費電力を抑えることができます。また、各モードでは個別にCPU電圧の調整や、冷却ファンのプロファイル設定を変更することが可能です。



EPUの動作モードを設定するには、事前に「5-Way Optimization」を実行してシステムの最適化を実行する必要があります。

### EPUを使用する

The screenshot shows the ASUS EPU utility interface for Dual Intelligent Processors 5. The interface is divided into four main modes: Auto, Performance, Power Saving, and Away Mode. The 'Performance' mode is currently selected. Key settings and their labels are as follows:

- 省電力 (Power Saving):** Indicated by a label pointing to the top of the interface.
- 高パフォーマンス (High Performance):** Indicated by a label pointing to the 'Performance' mode tab.
- 離席モード (Away Mode):** Indicated by a label pointing to the 'Away Mode' tab.
- 全般設定 (General Settings):** Indicated by a label pointing to the 'Global Setting' icon in the top right.
- 自動 (Auto):** Indicated by a label pointing to the 'Auto' mode tab.
- CPU電圧 (CPU Voltage):** Indicated by a label pointing to the 'Voltage Decrement' section, which has radio buttons for 'Auto' and 'User'.
- CPU最大電力 (CPU Maximum Power):** Indicated by a label pointing to the 'Configured Max CPU Power' section, which shows a value of 27 W.
- 冷却ファンプロファイル (Cooling Fan Profile):** Indicated by a label pointing to the 'Fan Profile' dropdown menu, which is set to 'Silent (ASUS)'.
- 追加USBコントローラー (Additional USB Controller):** Indicated by a label pointing to the 'Add-on USB Controller Power' section, which has radio buttons for 'Disable', 'Disable power to the USB ports when there are no connected devices', and 'Disable power to the USB ports once the connected devices are safely removed'.
- デフォルト設定に戻す (Return to Default Settings):** Indicated by a label pointing to the 'Default' button at the bottom.
- 最後に適用された値に戻す (Return to Last Applied Value):** Indicated by a label pointing to the 'Apply' button at the bottom.
- 設定を適用する (Apply Settings):** Indicated by a label pointing to the 'Apply' button at the bottom.



- 「CPU最大消費電力」の設定を変更した場合、Windows® OSのシステム情報で動作周波数が800MHzとして表示される場合があります。正確なCPU動作周波数は、手動で設定したCPU最大電力の値により変化します。
- 「CPU最大消費電力」の設定を変更した場合、CPUへ供給される供給電力量が減少し、高負荷時のパフォーマンスは低下します。デフォルト状態に戻す場合は、EPUの設定を変更しシステムを再起動してください。

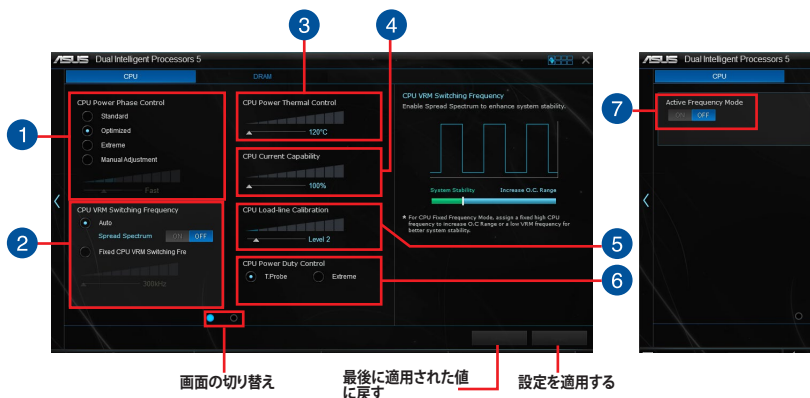
## DIGI+ Power Control

DIGI+ Power Controlでは、システムの安定性やオーバークロックパフォーマンスを調整するために、CPUやメモリーの供給電流やVRMの制御方法を設定することができます。



本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。予めご了承ください。

### CPU



#### 1 CPU Power Phase Control

動作中のCPU用電圧調整モジュール(VRM)数の制御方法を設定します。システム負荷の高い状態で稼働フェーズ数を増やすことにより、高速過渡応答と高い伝熱性能を得ることができます。システム負荷の低い状態で稼働フェーズ数を減らすことにより、VRMの変換効率が向上し発熱を抑えることができます。

#### 2 CPU VRM Switching Frequency

CPU用VRMのスイッチング周波数の制御方法を設定します。周波数を高くすることでVRMの過渡応答を高めることができます。

#### 3 CPU Power Thermal Control

CPU用VRMの許容する上限温度を設定します。CPU用VRMがここで設定した値に達すると、VRMは温度を下げるために自動的にパフォーマンスを低下させます。

#### 4 CPU Current Capability

CPUに供給する電流の上限値を設定します。オーバークロック時は高い値を設定することで動作を安定させることができます。ただし、VRMの消費電力が上昇します。

#### 5 CPU Load-line Calibration

CPUへの供給電圧を調整します。高い値を設定することでオーバークロックの限界を引き上げることができますが、CPUとVRMの発熱量は増加します。

#### 6 CPU Power Duty Control

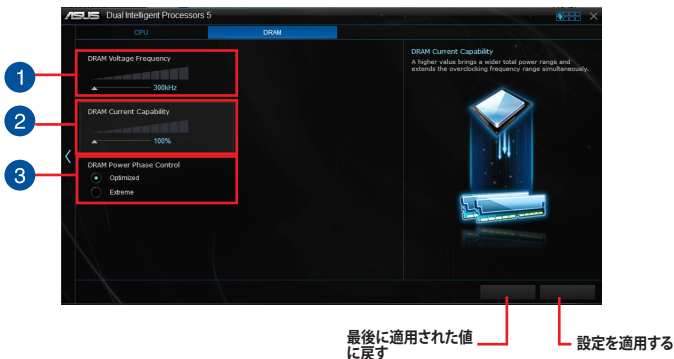
CPU用VRMの制御方法を設定します。温度または電流、どちらを重視して制御を行うかを選択します。電流を重視することにより、オーバークロック時に安定した動作を得ることができます。

#### 7 Active Frequency Mode

CPU用VRMの省電力機能の有効/無効を設定します。



## DRAM



- 1 DRAM Voltage Frequency (DRAM Switching Frequency)**  
メモリー用VRMのスイッチング周波数の制御方法を設定します。スイッチング周波数を高くすることでVRMの過渡応答を高めることができ、低くすることでシステムの安定性が向上させることができます。
- 2 DRAM Current Capability**  
メモリーに供給する電流の上限値を設定します。オーバークロック時は高い値を設定することで動作を安定させることができます。ただし、VRMの消費電力が上昇します。
- 3 DRAM Power Phase Control**  
メモリー用VRMの制御方法を設定します。[Extreme]は全てのVRMを稼働することによってシステムパフォーマンスが向上し、[Optimized]は効率的にVRM数を制御します。



- 調整可能な値は、取り付けられたCPUやメモリーによって異なります。
- マザーボードやコンポーネントの故障を未然に防ぐために、DIGI+ Power Controlによる調整を行う際は、適切な冷却システムを取り付けた上で行ってください。

## Fan Xpert 3

Fan Xpert 3は、マザーボードに取り付けられたファンの回転数を、熱源の温度に応じて自動でコントロールする機能です。プリセットされているサイレントモード(静音重視)やターボモード(冷却重視)を選べば全自動でファンの回転数を調整することができます。また、Fan Xpert 3はPWM制御/DC制御の両方式をハードウェアレベルでサポートしているだけでなく、アイドル時や軽負荷時のCPUファンによる余計なノイズを軽減するために、CPUファン規定の最小回転数よりも低い回転数で動作させる機能も備えています。

### FAN Xpert 3を使用する

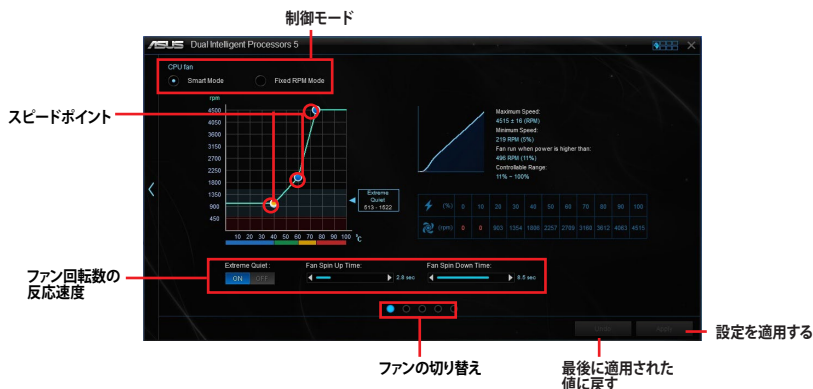


### カスタマイズ設定

#### Smart Mode

熱源の温度に基づいて、ファン回転数の反応速度を調節することができます。

#### CPUファン



「Extreme Quiet」は、PWM制御方式のCPUファンを取り付けている場合に、CPUファン規定の最小回転数よりも低い回転数で動作させることができる機能です。

## ケースファン

制御モード

ファン固定回転数

ファン回転数の反応速度

設定を適用する

ファンの切り替え

最後に適用された値に戻す

制御の基準となる熱源を選択

## RPM Mode

熱源の温度が75°Cを下回る場合のファン固定回転数を設定します。

ファン固定回転数

ファンの切り替え



- CPU温度が75°Cを超えた場合、ファンは自動的に最大回転数で動作します。
- FAN Xpert 3 は、外部ファンコントローラーに接続されたファンを正常に検出・制御することはできません。
- 2ピン接続のファンはFAN Xpert 3 で使用することはできません。2ピン接続のファンを接続した場合、ファンは最大回転数でのみ動作します。
- CPUファンまたはケースファンを交換した場合は、再度Fan Tuning(ファンの調整)を実行してから調整を行ってください。



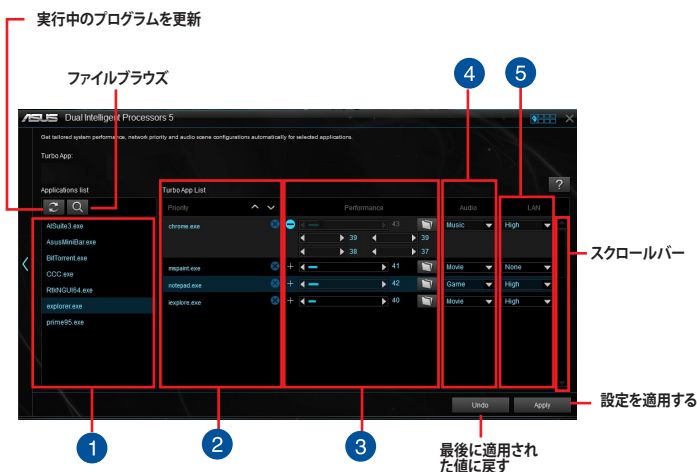
Fan Tuning(ファンの調整)の実行中は、ファンを取り外さないようご注意ください。

## Turbo App

Turbo Appは、使用中のアプリケーションに基づきシステムのCPUパフォーマンス、オーディオ設定、ネットワーク優先順位を自動的に調整することができる機能です。

この機能を使用するには、実行中のプログラムリストからTurbo Appリストにプログラムを追加し、パフォーマンス、オーディオ、ネットワーク優先順位を設定します。

Turbo Appに登録されたアプリケーションを実行すると、自動的にパフォーマンスが切り替わります。



- 1 **実行中のプログラム**  
システムで実行中のプログラム(アプリケーション)を表示します。
- 2 **優先順位**  
Turbo App Listに追加されたプログラムが表示され、優先順位を設定することができます。
- 3 **パフォーマンス**  
プログラムのCPUパフォーマンスレベル(ターボ・ブースト比)を設定します。この項目は、Intel® K-Seriesプロセッサを取り付けた場合にのみ調整することができます。
- 4 **オーディオ**  
プログラムのオーディオモードを設定します。
- 5 **ネットワーク優先順位**  
プログラムのネットワーク優先順位を設定します。



Turbo App機能を使用するには、EPUの動作モードを「自動」に設定する必要があります。

## ASUS Wi-Fi GO! カード

Wi-Fi GO! カードはあなたのシステムのネットワークを拡張する、非常に使いやすいワイヤレスネットワークアダプターです。Wi-Fi GO! カードでは通常のネットワークアダプター機能だけでなく、システムをアクセスポイントして動作させる「AP Mode」に対応しており、ワイヤレスルーターが無くても様々なデバイスとネットワークを共有することができます。Wi-Fi GO! カードは購入時からマザーボードに取り付けられているので、煩わしい取り付け作業をすることなく、どなたでも簡単にワイヤレスネットワーク環境をお楽しみいただくことができます。



Wi-Fi EngineのAP Modeでは、2.4GHz帯を使用して通信を行うため、5GHz帯のみを利用するIEEE 802.11ac規格での通信を行うことはできません。

## ASUS Wi-Fi GO! カード仕様一覧

無線規格	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac
Bluetooth規格	Bluetooth v4.0
伝送速度	802.11ac クアッドチャンネル通信利用時(HT80*): 最大867Mbps 802.11n デュアルチャンネル通信利用時(HT40*): 最大300Mbps 802.11n デュアルチャンネル通信非利用時(HT20*): 最大150Mbps 802.11g: 最大54Mbps 802.11b: 最大11Mbps 802.11a: 最大54Mbps * Wi-Fi EngineのAP Modeは、802.11n HT20モードでの通信となります。また、Windows® OSのSoftAP機能の制限により最大伝送速度は144Mbpsとなります。
セキュリティ	WEP / WPA / WPA2* * 65Mbpsを超えるリンク速度を使用する場合、WPA2またはオープンシステム認証方式をご利用ください。
動作モード	AP Mode Client mode
周波数	2.4GHz / 5GHz ISM/バンド
伝送距離	<b>Wi-Fi:*</b> 屋外: 最大300m 屋内: 最大100m * 伝送距離やデータ転送速度は、周囲の環境や条件により大きく変動します。 <b>Bluetooth:**</b> 10m ~ 20m ** 伝送距離は、通信を行うBluetooth機器の性能やそれぞれの電源容量、周囲の環境に依存します。
アンテナ	アンテナ1: Wi-Fi Tx / Rx アンテナ2: Wi-Fi Tx / Rx + Bluetooth 2T2R デュアルバンド対応Wi-Fi / Bluetooth アンテナ×1 (SMAタイプ)
LED	<b>Wi-Fi:</b> 点灯: 通信中 オフ: 接続なし <b>Bluetooth:</b> 点灯: 接続確立 点滅: 通信中 オフ: 接続なし
サポートOS	Windows® 7 / Windows® 8 / Windows® 8.1 (32bit / 64bit)
独自機能	ASUS Wi-Fi Engine ASUS Wi-Fi GO!

\* 製品は性能・機能向上のために、仕様およびデザインを予告なく変更する場合があります。

# インストールする

## システム要件

Wi-Fi GO! カードを使用するには、ご利用のシステムが以下の要件を満たしている必要があります。

1. Windows® 7 / Windows® 8 / Windows® 8.1 (32bit / 64bit) のオペレーティングシステム環境
2. サポートDVDのデータを読み込むための、光学ドライブ
3. マザーボードに付属のサポートDVD
4. ASUS AI Suite 3 ユーティリティをインストールするための、システムドライブの空き領域



- Wi-Fi GO! カードを使用する場合は、製品に付属の「**2T2R デュアルバンド対応Wi-Fi / Bluetooth アンテナ**」をWi-Fi GO! カードに接続してください。
- Wi-Fi GO! カードの独自機能をすべて使用するには、ASUS AI Suite 3 ユーティリティをインストールする必要があります。ASUS AI Suite 3 のインストール方法については、ご利用のマザーボードのユーザーマニュアルをご覧ください。

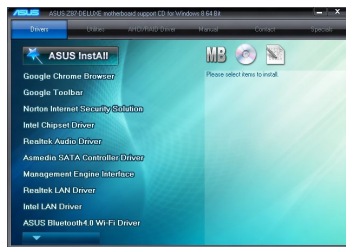
## Wi-Fi GO! カードのドライバーをインストールする



サポートDVDの内容は、予告なしに変更する場合があります。最新のドライバーやプログラムについては、ASUS公式サイトをご覧ください。(http://www.asus.co.jp)

### 手順

1. サポートDVDを光学ドライブに挿入します。OSの自動実行機能(オートラン)が有効の場合、インストールウィザードが自動的に表示されます。
2. 「**ドライバー**」タブをクリックし「**ASUS Bluetooth 4.0 / Wi-Fi ドライバー**」をクリックします。
3. 画面上の指示に従いインストールを完了します。
4. インストールの完了後、コンピューターを再起動します。



- Wi-Fi EngineのAP Modeでは、2.4GHz帯を使用して通信を行うため、5GHz帯のみを利用するIEEE 802.11ac規格での通信を行うことはできません。
- Wi-Fi EngineのAP Modeでは、Windows® OSのSoftAP機能を使用しています。AP Modeの通信規格はIEEE 802.11nを利用しており、Windows® OSのSoftAP機能の制限により、2.4GHz帯のみに対応しています。
- AP Modeのリンク速度上限は144Mbpsです。この制限は、本製品のWi-Fiモジュールに起因するものとなります。40MHz幅(HT40)を利用してピーター接続することで、リンク速度300Mbpsで通信することができます。
- AP Modeで通信する際の暗号化方式は、WPA2-PSKと互換性のある「RSNA-PSK」が自動的に利用されます。その暗号化方式を利用することはできませんのでご注意ください。RSNA-PSKの詳細については、下記URLをご覧ください。  
<http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ff570721.aspx>

# Wi-Fi Engine

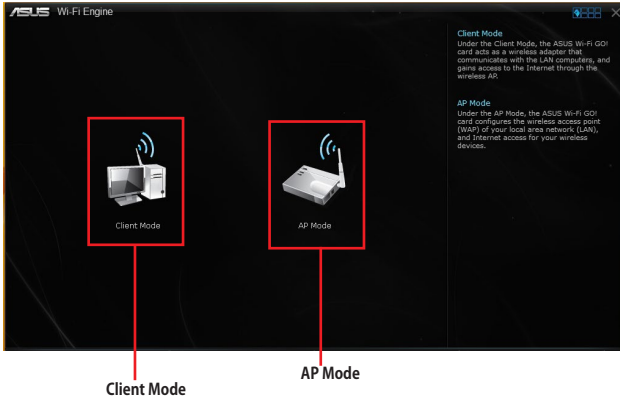
Wi-Fi Engineはワイヤレスネットワークに接続するだけでなく、お使いのコンピューターをワイヤレスネットワークのアクセスポイントとして使用し、IEEE 802.11nネットワークを共有することができます。

## Wi-Fi Engineを起動する

メニューバーで「**Wi-Fi Engine**」をクリックします。



モデルによって提供する機能は異なります。

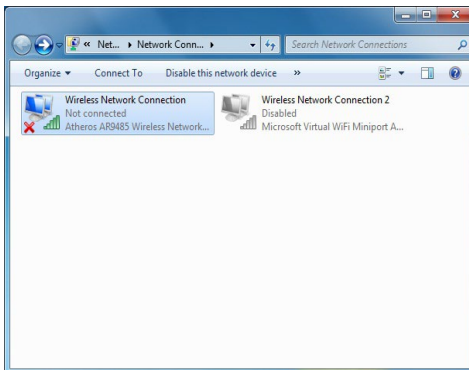


## Client Modeを使用する

システムをアクセスポイントまたはホストルーターに接続することができます。

手順

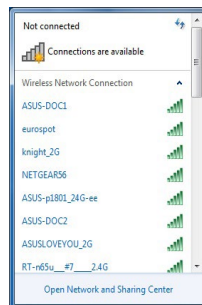
1. Wi-Fi Engineメニューから「**Client Mode**」をクリックし「**ネットワーク接続**」ウィンドウを開きます。
2. ワイヤレスネットワーク接続を設定するネットワークアダプターをダブルクリックします。



3. ネットワークリストから、接続を行うアクセスポイントまたはホストルーターのネットワーク名(SSID)を選択します。



パスワードが不明な場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



### AP Modeを使用する

お使いのコンピューターをワイヤレスネットワークのアクセスポイントとして使用し、ネットワークを共有することができます。

Wi-Fi Engineメニューから「AP Mode」をクリックします。



- AP Modeにおけるインターネット接続共有はネットワークアダプタドライバに依存しています。
- Windows® 8の制限により、AP Modeを初めてセットアップする場合は数分かかる場合があります。
- AP Modeでは、2.4GHz帯を使用して通信を行うため、5GHz帯のみを利用するIEEE 802.11ac規格での通信を行うことはできません。
- AP Modeは、Windows® OSのSoftAP機能を使用しています。AP Modeの通信規格はIEEE 802.11nを利用しており、Windows® OSのSoftAP機能の制限により、2.4GHz帯のみに対応しています。
- AP Modeのリンク速度上限は144Mbpsです。この制限は、本製品のWi-Fiモジュールに起因するものとなります。40MHz幅(HT40)を利用してリピーター接続することで、リンク速度300Mbpsで通信することができます。
- AP Modeで通信する際の暗号化方式は、WPA2-PSKと互換性のある「RSNA-PSK」が自動的に利用されます。その他の暗号化方式を利用することはできませんのでご注意ください。



## Wi-Fi GO! & Remote GO!

Wi-Fi GO! & Remote GO!は、時間や場所を選ばずに、スマートデバイスであなたのコンピューターへのリモートアクセスと制御を可能にする独自のユーティリティです。さらに、クラウドストレージサービス間の同期や管理なども行うことができます。



実際の画面や操作方法是ご利用のスマートデバイスの仕様やアプリケーションのバージョンによって異なる場合があります。予めご了承ください。

### システム要件

システム要件	PC	スマートデバイス
OS	Windows® 7/Windows® 8/ Windows® 8.1	Android™ 4.0 以上 iOS7以上
アプリケーション	ASUS HomeCloud ユーティリティ (Wi-Fi GO! / Remote GO!)	Wi-Fi GO! & NFC Remote



- 「Wi-Fi GO! & NFC Remote」アプリケーションはApp Store、またはGoogle Playから無料でダウンロードいただけます。
- 本機能をご使用になるには、付属のサポートDVDからWi-Fi/Bluetooth モジュール用ドライバとHomeCloudユーティリティをインストールする必要があります。
- Windows® 8.1 より以前のOSからWindows® 8.1 にアップグレードする場合は、必ずWi-Fi/Bluetooth モジュールのドライバを再インストールしてください。

### スマートデバイス対応解像度


Wi-Fi GO! & NFC Remoteは次の解像度をサポートしています。

画面タイプ	低密度 120 ldpi	中密度 160 mdpi	高密度 240 hdpi	高密度 320 xhdpi
解像度	1024 x 600	WXGA (1280 x 800)	1536 x 1152	2048 x 1536
		1024 x 768	1920 x 1152	2560 x 1536
		1280 x 768	1920 x 1200	2560 x 1600

### ASUSアカウント

Wi-Fi GO! / Remote GO!は、ASUSアカウントにログインすることでP2P (Public-to-Private) ネットワーク接続が可能となり、時間や場所を選ばずいつでもコンピューターを制御することができるようになります。



- Public-To-Privateネットワーク機能は、「Remote Desktop」と「File Transfer」でご利用いただけます。
- ASUSアカウントにログインするには、メイン画面右上の  アイコンをクリックしてください。

## ASUSアカウントを作成する



アカウントの作成を実行する前に、コンピューターがインターネット接続されていることをご確認ください。

### 手順

1. コンピューターまたはスマートデバイスでWi-Fi GO! / Remote GO!を起動し、ASUSアカウントのログイン画面を開きます。
2. 「**Create ASUS Account (ASUSアカウントを作成)**」をクリックします。ウェブブラウザが起動し、ASUSアカウントページ(<https://account.asus.com/>)にアクセスします。

ページが日本語以外の言語で表示されている場合は、画面右上の言語設定ドロップダウンリストで「**日本語**」を選択してください。

3. 「**今すぐ登録する!**」をクリックし、必要事項を入力しアカウントを作成します。

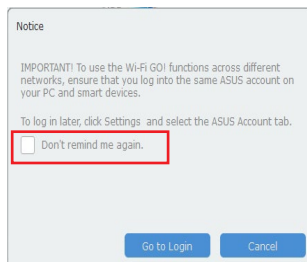
## ASUSアカウントにログインする

### 手順

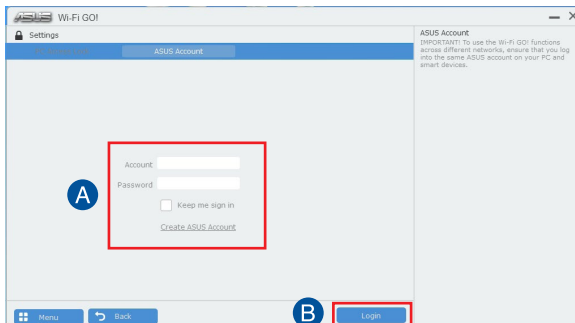
1. コンピューターでWi-Fi GO! / Remote GO!を起動します。



インストール後、初めてWi-Fi GO!を起動するとログインに関するメッセージが表示されます。「**Don't remind me again (今後このメッセージを表示しない)**」をチェックすると、起動時にこのメッセージは表示されなくなります。

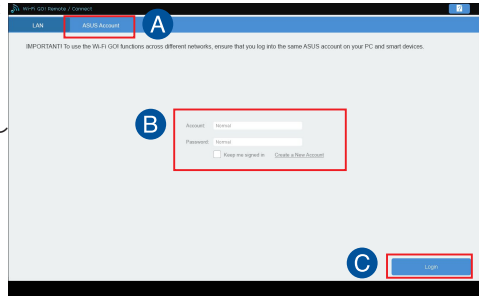


2. ASUSアカウントのログイン画面を開き、アカウント (ご登録のメールアドレス) とパスワードを入力し「**ログイン**」ボタンを押します。



## スマートデバイスでログインする

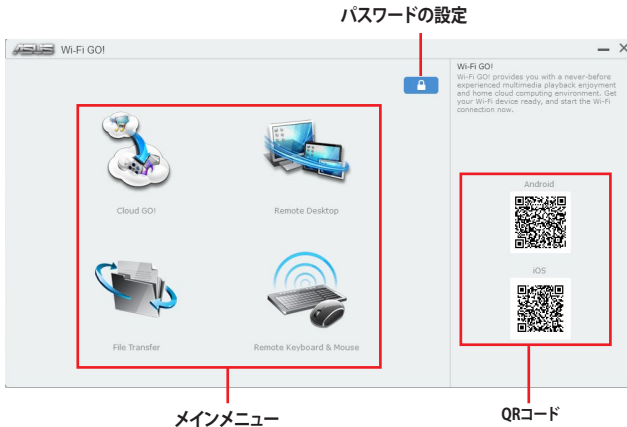
1. スマートデバイスでWi-Fi GO! & NFC Remoteを起動します。
2. 「ASUSアカウント」タブをクリックし、アカウント(ご登録のメールアドレス)とパスワードを入力し「ログイン」ボタンを押します。




- デバイスリストには、同じアカウントでログインしているコンピューターが表示されます。
- iOS用のPublic-to-Privateネットワーク接続は、Wi-Fi GO! & NFC Remote V2.00.0以降のバージョンでサポートする予定です。

## Wi-Fi GO! を使用する


Wi-Fi GO! / Remote GO!は、デスクトップの「Asus HomeCloud」ショートカットからランチャーを起動し、Wi-Fi GO!アイコンをクリックします。

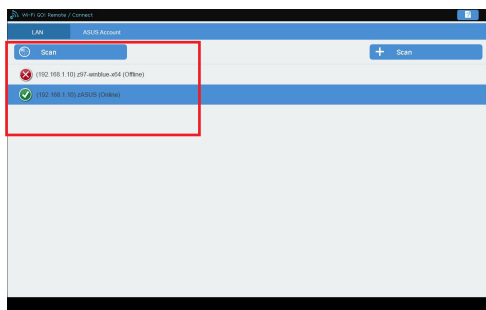


不正なアクセスからコンピューターを保護するために、Wi-Fi GO!の使用を開始する前に  をクリックし、アクセス保護ページでパスワードを設定することをおすすめします。

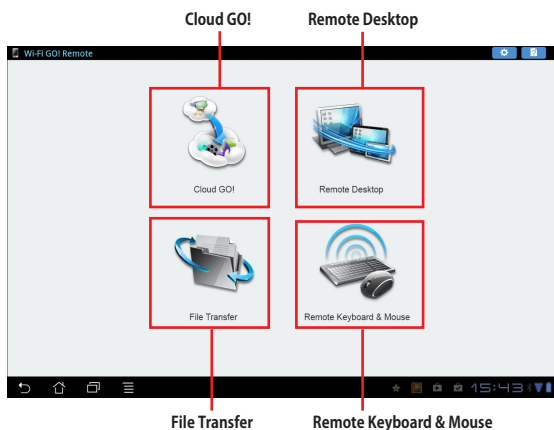
## Wi-Fi GO! & NFC Remote

### Wi-Fi GO! & NFC Remoteを使用する

1. スマートデバイスとコンピューターを同一ネットワーク上に存在するように設定します。異なるネットワーク上で利用する場合は、同じASUSアカウントを使用してスマートデバイスとコンピューターでASUSアカウントにログインします。
2. スマートデバイスでWi-Fi GO! & NFC Remoteアプリケーション  を起動し、Wi-Fi GO! & NFC Remoteの「**起動**」ボタンタップしてコンピューターの検出を開始します。
3. 一覧から接続を行うコンピューターをタップします。



### Wi-Fi GO! & NFC Remote interface メイン画面



本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。予めご了承ください。

## Wake-on-LANを使用する

スマートデバイスでコンピューターをスリープモードから復帰させることができます。スリープから復帰させるにはコンピューターのWake-on-LAN設定を有効にする必要があります。

手順

1. UEFI BIOS Utilityを起動し、Advanced Modeで「**Advanced**」→「**APM Configuration**」の順に進み、「**Power On By PCI-E**」を[Enabled]に設定します。
2. 次の指示に従い、Windows® OSの設定を行います。

### Windows® 7 の場合

- a. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」の順にクリックします。
- b. 「システム」の下の「デバイスマネージャー」をクリックします。
- c. 「ネットワークアダプター」をクリックして展開し、Wake-on-LANを実行するためのネットワークアダプターを右クリックします。コンテキストメニューの「プロパティ」を選択し、「電力の管理」タブを開きます。
- d. 「このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする」と「Magic Packet でのみ、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする」の2つの項目をチェックします。

### Windows® 8 / 8.1 の場合

- a. マウスで画面の右上隅をポイントし、マウスポインターを下へ移動して、「検索」をクリックします。次に、「設定」をクリックし検索入力欄に「デバイスマネージャー」と入力します。
- b. 画面左側の検索結果に表示された「デバイスマネージャー」をクリックし、取り付けられたデバイスの一覧を表示します。
- c. 「ネットワークアダプター」をクリックして展開し、Wake-on-LANを実行するためのネットワークアダプターを右クリックします。コンテキストメニューの「プロパティ」を選択し、「電力の管理」タブを開きます。
- d. 「このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする」と「Magic Packet でのみ、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする」の2つの項目をチェックします。

## Cloud GO!

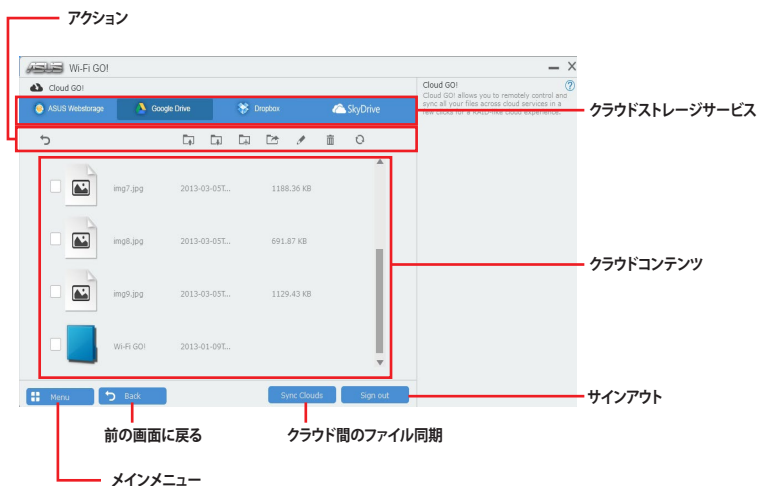
Cloud GO! は複数のクラウドストレージを管理することのできる統合プラットフォームで、クラウドストレージをより使いやすく、より拡張性を高め、より効率的にします。



- Cloud GO!を使用する前に、システムの日付と時刻が正しく設定されていることをご確認ください。
- 仕様により、同期することができるファイルの最大ファイルサイズは、最大100MBまでとなります。
- クラウドストレージサービス間のファイル同期を実行した場合、同期されたファイルはクラウドストレージ内の「Wi-Fi GO!」フォルダーに保存されます。Backupでローカルドライブに保存したファイルは、Cドライブ直下の「MyFavorite」フォルダーに保存されます。
- スマートデバイスでクラウドストレージサービスにアクセスするには、事前にコンピューターのWi-Fi GO! / Remote GO!で各サービスにログインしてください。この際「**このアカウントを記憶する**」を必ずチェックしてください。

### 手順

1. メイン画面から「Cloud GO!」を開始します。
2. 「起動」をクリックし、Cloud GO!を起動します。初回起動時は使用許諾に同意をチェックしてください。



## Remote Desktop

Remote Desktopは、スマートデバイスを使用してリアルタイムでコンピューターをコントロールすることができます。

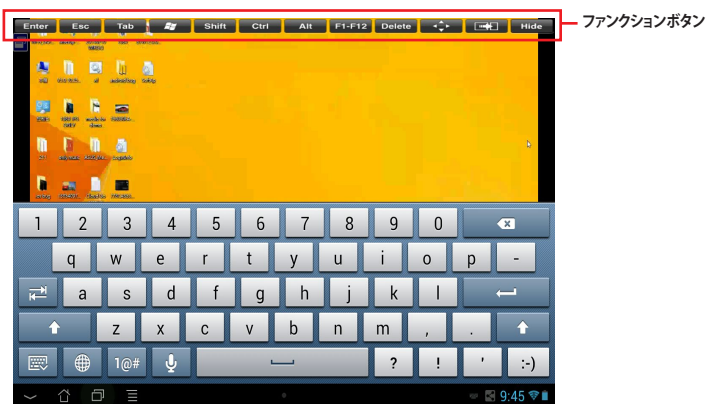
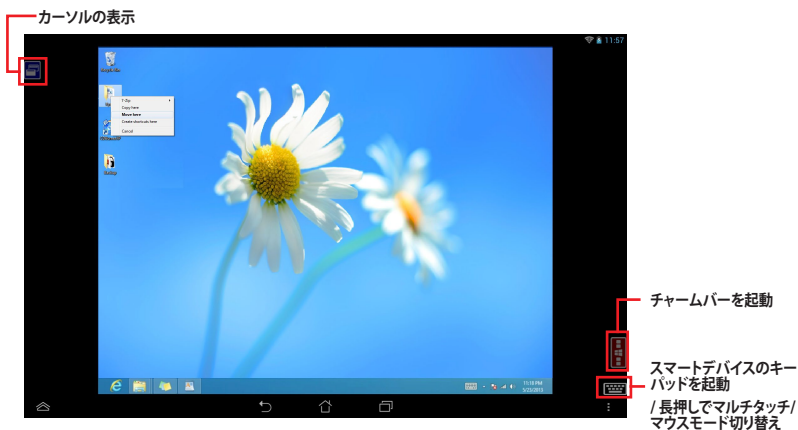


Remote Desktopの使用時、ユーザーアカウント制御(UAC)は自動的に[通知しない]に切り替わります。Remote Desktopを終了するとこの設定は元の状態に戻ります。

### 手順

スマートデバイスでWi-Fi GO! & NFC Remoteを起動して対象のコンピューターに接続し、「Remote Desktop」を起動します。

### Remote Desktop画面 (Windows® 8)



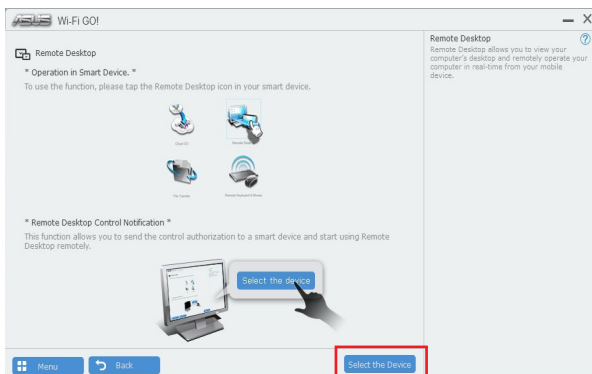
- Windows® 8 / 8.1 のマルチタッチ機能を使用する場合は、操作方法をマルチタッチモードに切り替えてください。
- 表示を拡大する場合は、マウスモードでピンチアウト操作してください。
- 拡張デスクトップのサポートは、お使いのコンピューターにインストールされたグラフィックドライバーによって異なります。

## リモートデスクトップのコントロール通知

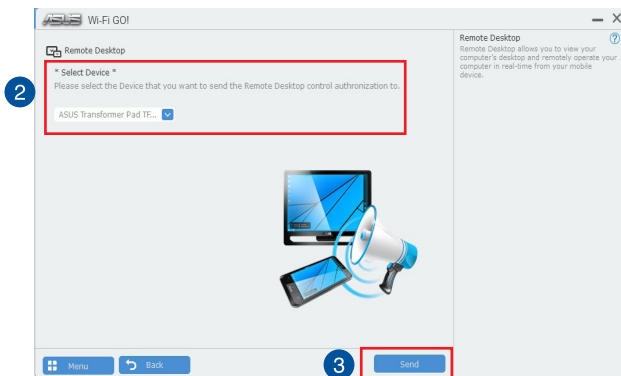
Remote Desktopでは、特定のデバイスにコンピューターの制御を許可するメッセージを送信し、メッセージを受け取ったデバイスで直接Remote Desktopを実行することができます。

手順

1. 「**Select Device (デバイスを選択)**」をクリックします。



2. ドロップダウンリストからデバイスを選択します。
3. 「**Send (送信)**」をクリックし、選択したデバイスにRemote Desktopの制御を許可するメッセージを送信します。



この機能を使用するには、お使いのコンピューターとスマートデバイスの両方にPush Noticeをインストールする必要があります。



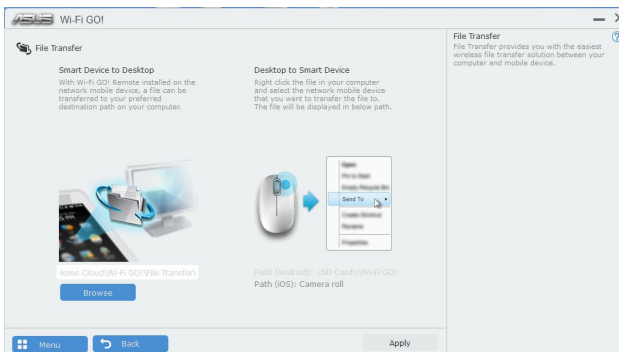
## File Transfer

File Transferでは、P2P (Public-to-Private) ネットワーク内のコンピューターやスマートデバイス間で簡単にファイルの送受信をすることができます。

### ホストコンピューターからファイルを送信する

手順

1. スマートデバイスでWi-Fi GO! & NFC Remoteを起動して対象のコンピューターに接続し、「**File Transfer**」を起動します。
2. 画面右上の歯車アイコンをタップし設定画面を表示します。次に「**Desktop to Smart Device**」を[ON]にします。
3. コンピューターでスマートデバイスへ送信したいファイルを右クリックし、コンテキストメニューから「**送る**」→「**受信デバイス(ユーザー名)**」の順にクリックします。「**受信デバイス(ユーザー名)**」はご使用のスマートデバイスによって異なります。



4. 「**転送が完了しました。**」と表示されたら「**OK**」をクリックしウィンドウを閉じます。



- File Transferを使用してiOSデバイス上のファイルを送信する場合は、iOSの「**設定**」→「**プライバシー**」→「**写真**」にアクセスし、画面内に表示されている「**Wi-Fi GO! & NFC Remote**」を「**オン**」に変更してください。
- スマートデバイスに転送されたファイルは次の場所に保存されます。  
**Android:** <SD card>\Wi-Fi GO!  
**iOS:** カメラロール

### スマートデバイスからファイルを送信する

手順

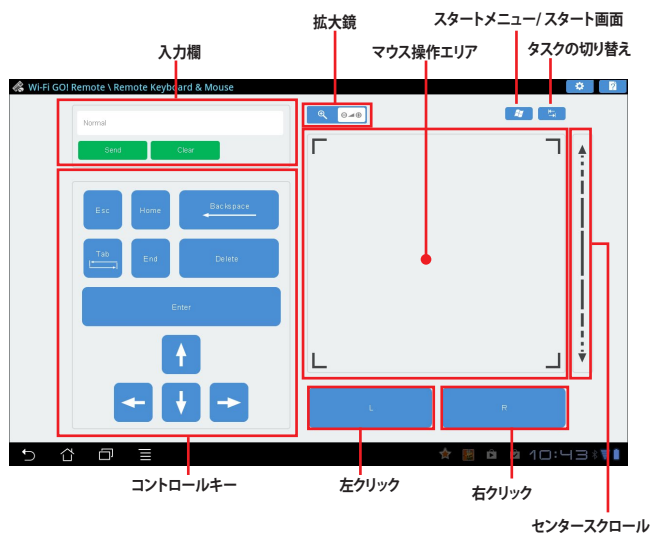
1. スマートデバイスでWi-Fi GO! & NFC Remoteを起動して対象のコンピューターに接続し、「**File Transfer**」を起動します。
2. 送信したいファイルをタップしてチェックし、「**送信**」をタップしてファイルを送信します。



コンピューターに転送されたファイルはデフォルトで次のディレクトリに保存されます。  
C:\Users\Documents\ASUS Home Cloud\Wi-Fi GO!\File Transfer

## Remote Keyboard & Mouse

スマートデバイスのタッチパネルを利用して、コンピューターのマウスやキーボード操作を行なうことができます。



## ASUS Media Streamer

ASUS Media Streamerは、通勤や通学の電車の中や職場で休憩中など場所を選ばずどこでもマルチメディアコンテンツを楽しむことができる機能です。



- ご使用のデバイスがDLNA®対応デバイスであることをご確認ください。
- ASUS Media StreamerはNFC機能をサポートしており、NFC EXPRESS 2を使用して操作することができます。詳しくは、ASUS公式サイトをご覧ください。



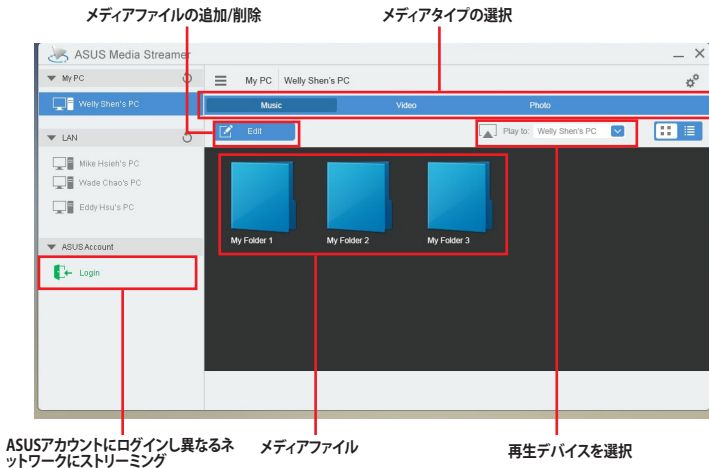
- iOS用のPublic-to-Privateネットワーク接続は、Media Streamer V2.00.00以降のバージョンでサポートする予定です。
- iOSデバイスは、写真と動画のみをストリーミングすることができます。

## システム要件

システム要件	PC	スマートデバイス
OS	Windows® 7/Windows® 8/ Windows® 8.1	Android™ 4.0 以上 iOS7以上
ユーティリティ	ASUS HomeCloud ユーティリティ (ASUS Media Streamer)	ASUS Media Streamer

## ASUS Media Streamerを使用する

デスクトップの「Asus HomeCloud」ショートカットからHomeCloudランチャーを起動し、ASUS Media Streamerアイコンをクリックします。



## メディアファイルの追加と削除

ドラッグ & ドロップ、ブラウザからファイルを追加



各スマートデバイスは、次の形式（フォーマット）の動画/音声ファイルのストリーミングをサポートしています。

### Android:

.3gp / .mp4 / .m4a / .aac / .ts / .flac / .mp3 / .mid / .xmf / .mxf / .rtttl / .rtx / .ota / .imy / .ogg / .mkv / .wav / .jpg / .gif / .png / .bmp / .webp / .webm

### iOS:

.mov / .mp4 / .mpv / .3gp

# RF Equipment Notices

## CE: European Community Compliance Statement

The equipment complies with the RF Exposure Requirement 1999/519/EC, Council Recommendation of 12 July 1999 on the limitation of exposure of the general public to electromagnetic fields (0–300 GHz). This wireless device complies with the R&TTE Directive.

## Wireless Radio Use

This device is restricted to indoor use when operating in the 5.15 to 5.25 GHz frequency band.

## Exposure to Radio Frequency Energy

The radiated output power of the Wi-Fi technology is below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, it is advised to use the wireless equipment in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized.

## FCC Bluetooth Wireless Compliance

The antenna used with this transmitter must not be colocated or operated in conjunction with any other antenna or transmitter subject to the conditions of the FCC Grant.

## Bluetooth Industry Canada Statement

This Class B device meets all requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations.

Cet appareil numérique de la Class B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

## NCC: Taiwan Wireless Statement

### 無線設備の警告聲明

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更射頻、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信指依電信法規定作業之無線通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

於 5.25GHz 至 5.35GHz 區域內操作之  
無線設備的警告聲明

工作頻率 5.250 ~ 5.350GHz 該頻段限於室內使用。

## Japan RF Equipment Statement

### 屋外での使用について

本製品は、5GHz 帯域での通信に対応しています。電波法の定めにより5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波は屋外で使用が禁じられています。

### 法律および規制遵守

本製品は電波法及びこれに基づく命令の定めるところに従い使用してください。日本国外では、その国の法律または規制により、本製品を使用ができないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果、罰せられることがあります。当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。